

千葉県社保協通信

2014年度 — No5 2014年 10月 8日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

地域から声あげて

—東葛5市国保の会が学習交流会開く—

医療費削減のための国保広域化を中止させよう

10月4日、東葛5市(松戸・野田・柏・流山・我孫子)国保の会
合同で流山市内にて開催した国保問題学習交流会には25人が参加。

はじめに東葛病院の医療福祉相談員の趙理明氏が、医療現場から見える“貧困”をテーマに報告。「教育費の負担が重い日本では貧困家庭は高等教育が受けづらく、仕事に就けないなど貧困が連鎖、健康知識が育ちにくい」と指摘。「必要な視点は人権意識、貧困は自己責任でない」と強調。-写真-



つづいて藤田まつ子県社保協事務局長が「都道府県単位広域化の問題点」を報告。「広域化

は国の責任放棄であり、医療費削減を都道府県にさせることが目的」と指摘。知事会は「財政的問題解決の道筋を示さない限り、保険者にはならないと反発、公費1兆円の投入を強く要求している」「いまこそ地域住民の実態から声を届け、自治体職員とともに考えよう」と話しました。

「今年度中に44条減免の実施との回答を得た」(我孫子)など活動を交流。11月に東葛5市の会として県担当課との懇談を行うことなどを確認しました。



9.24 定例宣伝

安倍の暴走ダメでしょ!!

県社保協と消費税廃止県連絡会は、9月24日、昼休みJR千葉駅前で消費税増税ストップ、社会保障の改悪反対の宣伝署名行動を行ないました。

「個人消費も日本経済も落ち込む中、消費税10%への増税が年内にも決められようとしています」「一方で大企業への減税が狙われています。逆立ちした税制を正し、社会保障の改悪をやめさせましょう」とマイクで訴え。

「みなさんの言っていることに賛成。安倍内閣は消費税増税も集団的自衛権何でも乱暴に決めすぎる。今度の選挙で自民党を政権から落とさないとダメだ」(70代男性)など対話が弾みました。

行動には千商連・民商、千葉労連、民医連、消費税なくす会などから8人が参加、署名は15筆。

銚子・県営住宅 母子無理心中事件

なぜ知らされなかった “家賃減免制度”

9月24日、銚子市内の県営住宅で、43歳の母親が無理心中を図り、中学2年の長女の首を絞めて死亡させる事件が起きた。家賃滞納で、県住からの立ち退きを迫られ、強制的に追い出すために執行官が訪れたその日に。

収入は母親の労賃7万円と児童扶養手当5万円程度。昨年4月母親は体調を崩し、国保料滞納で保険証を取り上げられていたため銚子市役所に行き、短期保険証を発行してもらっている。その時、福祉事務所の窓口にも行っている。公的機関との接点があったのに、なぜ救えなかったのか。

県生活と健康を守る連絡会は9月30日、丸山慎一県議同席のもと県住宅課と健康福祉指導課から経過を聞き、改善を求めた。

最大の問題は県営住宅の家賃減免制度が知られていなかったこと。月の家賃は1万2800円だが減免を申請すれば8割減免が適応され、月2560円で済んだはず。当然滞納分はすべて支払い、さらに2年先の家賃を払っていたのだ。知らされなかったために最悪の悲劇を生んでしまった。

生活保護は他法優先だが、福祉事務所の窓口やケースワーカーなどに家賃減免制度は知らされていないのだろうか。県と市の姿勢が問われる。悲劇を繰り返してはならない。